



2023年4月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年3月10日

上場会社名 株式会社 ザッパラス
 コード番号 3770 URL <https://www.zappallas.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川嶋 真理
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小林 真人
 四半期報告書提出予定日 2023年3月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5656-2758

(百万円未満切捨て)

1. 2023年4月期第3四半期の連結業績(2022年5月1日～2023年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第3四半期	3,272	9.5	325		317		351	
2022年4月期第3四半期	3,615	6.4	176	1.9	227	49.1	135	38.8

(注) 包括利益 2023年4月期第3四半期 341百万円 (%) 2022年4月期第3四半期 116百万円 (21.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2023年4月期第3四半期	27.46	
2022年4月期第3四半期	10.57	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2023年4月期第3四半期	6,621	6,140	92.7	478.79
2022年4月期	7,143	6,520	91.2	508.46

(参考) 自己資本 2023年4月期第3四半期 6,135百万円 2022年4月期 6,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2022年4月期		0.00		3.00	3.00
2023年4月期		0.00			
2023年4月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年4月期の配当は未定です。

3. 2023年4月期の連結業績予想(2022年5月1日～2023年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	4,520	5.9	360	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
以外の会計方針の変更：無
会計上の見積りの変更：無
修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年4月期3Q	13,651,000 株	2022年4月期	13,651,000 株
期末自己株式数	2023年4月期3Q	836,468 株	2022年4月期	836,468 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年4月期3Q	12,814,532 株	2022年4月期3Q	12,786,514 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症による、国内外の経済活動の制限は緩和が進んでいるものの、未だ警戒が必要な状況が継続しています。一方、当社グループ主力の占いサービス事業は、主にスマートフォンやPCを通じたインターネットサービスのため、現在までのところ大きな影響は受けておりません。

当第3四半期においては、地上波テレビでの占いをテーマとしたバラエティ新番組の提供、占いと連動させた原宿イベントの企画開催など、潜在ユーザー層の開拓を目的とした各種プロモーションに積極的に取り組んでまいりました。その結果、プロモーションノウハウの蓄積や、当社グループ所属占い師のメディア露出増加など一定の成果を確認することが出来ています。

これらの活動を通じ、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は3,272,706千円（前年同四半期比9.5%減）、営業損失は325,254千円（前年同四半期は176,456千円の営業利益）、経常損失は317,162千円（前年同四半期は227,909千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は351,825千円（前年同四半期は135,155千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。損失の主な要因は、地上波テレビ番組制作協力をはじめとした、広告宣伝費の増加によるものです。

なお、2022年10月21日に「2023年4月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ」のリリースを開示し、業績予想の修正を行っております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,424,857	5,081,315
売掛金	566,761	541,301
商品及び製品	39,895	57,426
未収還付法人税等	78,373	171,714
その他	183,814	75,717
貸倒引当金	△846	△636
流動資産合計	6,292,855	5,926,838
固定資産		
有形固定資産	85,820	68,027
無形固定資産		
ソフトウェア	54,958	35,948
のれん	181,800	80,666
その他	11,441	6,636
無形固定資産合計	248,199	123,251
投資その他の資産		
投資有価証券	424,167	424,193
その他	92,283	79,292
投資その他の資産合計	516,450	503,485
固定資産合計	850,471	694,764
資産合計	7,143,327	6,621,603
負債の部		
流動負債		
買掛金	161,348	164,184
未払金	282,194	221,418
未払法人税等	50,141	5,340
その他	108,775	71,296
流動負債合計	602,460	462,240
固定負債		
繰延税金負債	20,352	18,481
固定負債合計	20,352	18,481
負債合計	622,813	480,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,476,343	1,476,343
資本剰余金	1,401,720	1,401,720
利益剰余金	4,826,054	4,435,785
自己株式	△1,291,985	△1,291,985
株主資本合計	6,412,132	6,021,863
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	314	339
為替換算調整勘定	103,167	113,303
その他の包括利益累計額合計	103,481	113,643
非支配株主持分	4,900	5,374
純資産合計	6,520,514	6,140,881
負債純資産合計	7,143,327	6,621,603

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2022年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)
売上高	3,615,820	3,272,706
売上原価	1,087,016	1,035,071
売上総利益	2,528,804	2,237,635
販売費及び一般管理費	2,352,348	2,562,889
営業利益又は営業損失(△)	176,456	△325,254
営業外収益		
受取利息	491	102
為替差益	50,760	7,511
その他	200	539
営業外収益合計	51,452	8,153
営業外費用		
その他	—	61
営業外費用合計	—	61
経常利益又は経常損失(△)	227,909	△317,162
特別損失		
本社移転費用	6,237	—
特別損失合計	6,237	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	221,671	△317,162
法人税、住民税及び事業税	81,538	32,537
法人税等調整額	4,947	1,651
法人税等合計	86,486	34,188
四半期純利益又は四半期純損失(△)	135,185	△351,350
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	474
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	135,155	△351,825

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2022年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	135,185	△351,350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	102	25
為替換算調整勘定	△19,023	10,136
その他の包括利益合計	△18,921	10,162
四半期包括利益	116,264	△341,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116,234	△341,663
非支配株主に係る四半期包括利益	30	474

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りについて)

前事業年度の有価証券報告書(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。